

越前町議会・令和6年12月定例会一般質問【長谷川眞恵議員】

(令和6年12月5日 午前10時51分 開始)

○5番(長谷川眞恵君) 先日、12月1日日曜日、演奏や歌、一緒に楽しむ越前町、障がい問わず発表、これは、日刊県民福井さんが載せてくださいました。障がいのある人と健常者が一緒になって演奏や歌を楽しむ発表会が越前町社会福祉センターで行われました。趣旨は、できることを精いっぱいというテーマです。

発表会は、一般社団法人えちぜん自立サポートの主催です。音楽を学びながら発表の機会が少ない人たちに演奏の場を提供し社会参加を応援しようと開いたものです。町内のダウン症の男性、37歳は、30年以上続けているピアノ演奏を披露しました。指導を受けているピアノの先生と一緒に力強く鍵盤を弾きました。鯖江市の認知症の男性、83歳は、見事なバイオリン演奏を披露してくださいました。また、男性の息子さんのギター演奏に合わせて、「ふるさと」、「三百六十五歩のマーチ」などを軽やかに演奏してくださいました。その場にいた観客の皆様は、手拍子をしながらかみで聞き入っていました。その場におられた皆様は、心をつにして、手と手を携えて、支え合う姿、光景がありました。競争ではなくて、協力、協調、愛、調和、支え合いを目の当たりにいたしました。皆さん、感動されました。ここで一句、「道するべならんと花の種をまく」。

こういうことが行われたということをお客様にお伝えしておきます。

それでは、皆様、議長のお許しをいただきましたので、一般質問させていただきます。

公共交通の廃止についてです。

本年9月末をもって、京福バスの清水織田線と西田中宿堂線の、宿堂・天王間が廃止になりました。それまで利用されていた方々、町民の皆様にとりましては、言葉には表わし尽くせない悲しみとショックに打ちひしがれておられることと拝察いたします。

10月1日からの京福バス、西田中宿堂線、天谷から天王の廃止に伴い、天谷から西田中バスターミナル間、小倉経由を運行する定期便を朝夕に1便ずつ運行していただけるようになっております。代替の車は、チョイソコえちぜん「あさひ号」です。

これについて説明しますと、運賃は一般、高校生200円、高齢者70歳以上、小・中学生、障がい者は100円です。運行ダイヤは平日のみ往復1便で、土曜日、日曜日、祝日は運休になっています。行きの便は、西田中バスターミナルで、福鉄バスの鯖浦線北鯖江駅に7時57分発と8時3分発に接続されております。帰りの便は、西田中バスターミナルで福鉄バス鯖浦線織田行き17時44分着より接続されています。

ここで、町民の皆様のご意見をお聞きいたしましたので、ご紹介いたします。

平日、このように代替の車、チョイソコえちぜんが出ていますが、福井に通勤している町民にとりましては利用できません。とにかく、福井には8時に着かなければ職場に遅刻してしまいます。チョイソコえちぜん「あさひ号」で西田中バスターミナルに7時54分に着いて、福鉄バス鯖浦線と北鯖江行き7時57分発、8時3分発に乗り継いでも、福井に到着する時刻は、到底8時には着かず、職場の出勤時刻には明らかに役立たずです。これからの人生のため、生活していくた

めには仕事を続けていかねばなりません。これから先、どうやって生きていけばよいのか途方に暮れています。現在、家族で何度も話し合っています。福井へ引っ越すことも考えていますということです。

また、土曜日に西田中で買い物をして、3時のフレンドリー号で帰ろうと思っていると、土曜日には、そのバスは休みでした。結局タクシーで帰らねばならず、3,000円もかかりました。年金暮らしなので非常にショックでありました。

それから、役場のイベントをととても楽しみにしている町民の皆様はたくさんおられます。ところが、交通手段がないため、チョイソコえちぜんは、大体イベントは土曜、日曜に開催されるのがほとんどです。本当に参加できなくなり、行けなくなり、とてもかわいそうに思います。土曜日、日曜日に福井に行く用事など、福井以外も全て西田中までですら、どうしても手段がなくて困っていますということです。

それから、平日、福井方面の病院へ行く場合の方、日赤の場合ですが、電車を降りてから病院まで歩かなければいけません。体の具合が悪い状態の方にとっては、これは5分とはいえ非常に大変なことだと理解してほしいですということです。

町民の中には、成人した子どもたちを町外へ出した方がたくさんおられます。教育、通勤などにおきまして、やはり、交通が不便で暮らしていけないと言っています。また、お祭りでも、若い人や子どもが随分と減りました。まずは、若い世代が安心して住める環境を整えないと流出が止まらないでしょう。そしてまた、町おこしのアイデアがあっても、その担い手がないと実現しません。交通のインフラにご助力いただけますようお願いいたします。

以上のような様々な町民の皆様のお声が届いています。このような厳しい現実を捉え、町民の声をどのように考えておられるのか、町長のご所見を伺います。

○副議長（藤野菊信君） 町長。

町長（青柳良彦君） 登壇

○町長（青柳良彦君） それでは、質問にお答えいたします。

地域における移動手段については、まずは、公共交通機関の確保、充実を基本とし、公共交通サービスの維持確保を図っていくことは重要であると考えています。しかしながら、経年的な利用者の減少によって公共交通の維持継続が難しくなり、そこに、運転手不足等による路線バスの廃止や減便が生じ、運行事業者の自助努力では限界があると感じています。

今後、将来的に、町が実施主体となり事業を行うこととも視野に入れ、持続可能な運行に向けた取組みを検討していく中で、地域公共交通計画にも明記していますが、例えば、これまでに、路線バスの利用者が少人数の地域では、行政主体の取組みにとどまらず、地域に必要な交通は地域自らが守り育てるという住民互助の観点に基づき、人口減少、運転手不足という時代に適した新たな地域公共交通の仕組みづくりも必要と考えています。いずれにいたしましても、今後は、他自治体の取組事例も参考にしながら、持続可能な新たな交通体系の実現に向けた取組みを進めていきたいと考えておりますので、ご理解のほど、よろしく願いいたします。

以上です。

○副議長（藤野菊信君） 長谷川眞恵さん。

○5番（長谷川眞恵君） 今、町長の丁寧なお言葉をいただきまして、とても光が見えてまいりました。新たな地域公共交通の仕組みづくりが必要と考えておられるということが、強く心に響いてきました。新たな地域交通の仕組み、本当に未来が明

るいですね。だんだんよくなっていくと思います。一刻も早く使用可能な新たな移動手段実現に取り組むことを強く要望いたします。人に優しい越前町、地域に優しい越前町の実現を強く強く要望いたしまして、私の一般質問を終わらせていただきます。

(午前11時6分 終了)